

第75回国民体育大会（鹿児島県）大会に関する  
長野県スポーツ協会 林 泰章 理事長 のコメント

世界規模による新型コロナウイルス感染症の猛威は、我々の生活はもちろん、スポーツを取り巻く環境においても大きな影響を及ぼしています。東京オリンピック・パラリンピックの開催延期、プロスポーツの開幕延期、そしてジュニア選手の夢の舞台「インターハイ」や「全中大会」、「高校野球」の大会中止など、やりきれない気持ちでございました。

そのような折、本日6月19日、鹿児島県で開催予定であった第75回国民体育大会の今秋開催の中止が発表され、ここまで、多くの年月をかけて準備をされてきた鹿児島県民の皆さまをはじめ、この国体を目標に日々精進してきた選手、そしてそれを支えてこられた御家族の皆さまの心情を思うと残念でなりません。

また、標記大会に関わる県内関係者においては、開催可否が不透明の中、各競技による県予選会の準備や選手選考などにご尽力いただいていたことに感謝申し上げます。

今後、各競技団体におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策を講じながら事業を推進していただくとともに、次期国体に向け、そして2027年本県開催の国民体育大会に向けた競技力の向上に、力を注いでいただくことをお願い申し上げます、この危機を皆さまの力で乗り越え、一刻も早く元の生活に戻り、スポーツが楽しめる日が来ることを切に願っております。

令和2年6月19日

公益財団法人長野県スポーツ協会  
理事長 林 泰章